



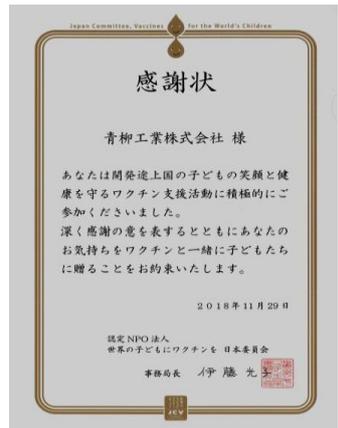
環境活動の意義を再確認すること

2019年の最高責任者コメント

今の暮らしは、便利になったが、そこに、様々な問題があることを忘れてはいけない。例としてペットボトルで説明したい。数十年前、飲料水の容器として導入されると、瞬間に広まり、すぐに容器の処理問題が浮上した。中国に送り処理していたが、それも昨年拒否されるにいたった。完全な解決策はなく、心ない人達は、不法に投棄し環境悪化の要因になりつつある。なぜ環境活動が重要なのか、一人一人が良識を持って行動できるよう、新年にあたり考えて欲しい。

エコキャップ収集活動に「感謝状」が届きました

皆さんに協力いただいているエコキャップ収集活動ですが、今回、送り先の「世界の子どもにワクチンを日本委員会」より感謝状が授与されました。この活動もすでに7年が経過して合計で8万個を達成、多くの子ども達にワクチンが提供されています。開始当初は、多少とも活動に疑いを持つ方もいらっしゃいました。また、ある回収団体の資金疑惑で、当社の活動に心配の声が上がりましたが、ここまでくることができました。皆さんのご協力に感謝すると共にこれからも、継続できるようよろしくお願ひします。 右上は現地の写真、右はいただいた感謝状です →



環境影響評価実施しました

本年度の環境影響評価を実施しました。今回も一般社員代表の6名の方に参加いただきました。今回も電気に対する評価が高い結果でした。こうした評価が、次年度の目標を決める判断材料となって行きます。右の表が実際の評価集計表の一部です。評価いただいた項目20項目、電気、水、排気ガス、紙、廃棄物、グリーン購入など多くの意見がありましたが、ここ数年社会貢献に対する評価が上がっています。生物多様性についても、テレビ報道等で外来種の問題が取り上げられているせいも、そうしたご意見もいただきました。社員の皆さんの関心ある項目を中心に、環境活動を展開して行きます。



1	電気使用量	0	2		
2	水	1	2	2	3
3	自動車(運送)		2	4	2
4	紙の使用	1	5	1	1
5	包装・梱包材	1	1		6
6	原材料			2	6
7	化学物質		1	1	6
8	一般廃棄物	4	3	1	
9	産業廃棄物	3	2	1	2
10	騒音・振動・臭気			6	2
11	製品開発・設計		1	1	6
12	製品・生産			3	5
13	販売管理		1		7
14	グリーン購入		1	3	4
15	環境保全体制	1		2	5
16	環境教育・啓発活動	4	4		
17	社会貢献	0	1	1	
18	防災活動	1	4	3	
19	気候変動の緩和	2	1		4
20	生物多様性の保全	1	2	1	4

今年も緊急事態対応訓練実施します



毎年実施している、緊急事態への対応訓練を本年も実施します。実施方法は従来通りで**2月28日**を予定しています。毎回開始の合図が不明確とのご指摘をいただいておりますので今回は、その点を明確にしたいと考えています。外出中の方も、訓練時刻には、大災害発生を想定して、どこに避難することが、最も安全を確保できるか、次の段階で何をすべきか考えるだけでも、充分訓練になります。当日は全員参加が基本です。災害は忘れて頃にやって来そうです。万が一に備える気持ちを忘れずに持ち続けましょう。

伝言板 二回目の乾電池回収行います

昨年実施した乾電池回収ですが、回収を要望する声が多く、二回目を実施することにします。**回収日は、1月28日～2月1日まで**。前回と同じように、タイムレコーダーの近くに専用の箱を設置しますので、その中に入れてください。種類は問いません。普通単1～4、ボタン電池アルカリ乾電池以外にも、ニッケル電池等も回収しますが、袋などに分別していただくと、助かります。詳しくは、実行責任者 高橋までお問い合わせください。



今月の環境目標進捗状況

今月の目標も
すべて達成
できました!



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減(kwh)	22,861	19,294	達成	150,801	137,766	109%	↑
エコキャップ回収(個)	876	1,168	達成	8,298	9,908	119%	↑
美化活動実行(回)	—	—	—	2	2	100%	↑
地域活動支援(回)	—	—	—	1	1	100%	↑
環境周知度向上(%)	分別強化	情報誌で周知	達成	100	100	100%	↑

※ 上の写真は、水戸インター近くにある大塚池の白鳥です。1月4日に撮影しました。